

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 日本赤十字社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3	
本票作成	部署名：日本赤十字社岡山県支部 総務課				
主たる業種	分類コード	83	業種名：医療業		
事業の概要	医療施設・血液センター・看護学校等の運営、救護活動等 従業員数 1,289名（支部15名・本院969名・分院165名・血液センター140名）				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山赤十字病院		岡山市北区青江2-1-1	
	②	岡山県赤十字血液センター		岡山市北区いずみ町3-36	
	③	岡山赤十字病院玉野分院		玉野市築港5-16-25	
	④	日本赤十字社岡山県支部		岡山市北区丸の内2-7-20	
	⑤	献血ルームももたろう		岡山市北区表町1-9-64	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 5 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度 ( 5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 5.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input type="checkbox"/> 原単位基準						○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 21 年度)			目標年度 (平成 26 年度)					
	7,808 t CO <sub>2</sub>			7,418 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 21 年度) の排出量					
	①	岡山赤十字病院		5,476 t CO <sub>2</sub>					
	②	岡山県赤十字血液センター		1,172 t CO <sub>2</sub>					
	③	岡山赤十字病院玉野分院		1,071 t CO <sub>2</sub>					
	④	日本赤十字社岡山県支部		46 t CO <sub>2</sub>					
	⑤	献血ルームももたろう		43 t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> / ( )	CO <sub>2</sub> / ( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 21 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

公的機関として、設備更新等によるエネルギー効率の向上等を図り、温室効果ガス排出の削減に取り組む

**【目標削減率達成のための推進体制】**

支部総務課、本院総務課及び施設課、分院総務課、血液センター経理課を担当課と定め、目標削減率の達成に努める

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
岡山赤十字病院 岡山県赤十字血液センター 岡山赤十字病院玉野分院 日本赤十字社岡山県支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ESCO事業により700kw級ガスエンジン発電機を導入し、排熱利用によってエネルギー消費を削減</li> <li>・小型貫流ボイラーへの入替によりガス使用量を削減</li> <li>・ポンプ、ファンインバーター化及び省エネベルト採用により、消費電力を低減</li> <li>・ハイブリッド車の導入によるCO2排出量を削減</li> <li>・ハイブリッド車の導入によるCO2排出量を削減</li> <li>・ソーラーシステム設置により給湯設備における消費燃料の削減</li> <li>・照明器具のインバーター化による電力使用量を削減</li> </ul>

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
岡山赤十字病院 岡山県赤十字血液センター 日本赤十字社岡山県支部 献血ルームももたろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修工事に合わせ、照明設備をインバーター化</li> <li>・空調設定温度の見直し</li> <li>・施設内の主な部屋の照明設備をインバーター化することにより、排出CO2を削減する</li> <li>・ハイブリッド車の導入によるCO2排出量を削減</li> <li>・施設内の主な部屋の照明設備をインバーター化することにより、排出CO2を削減する</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

- ・冷房設備の使用電力低減のため、クールビズに取り組んでいる
- ・全事業所において、社用車のエコドライブを推進している

●提出済みの計画書について、エネルギー起源CO2排出量の計算にあたり、排出係数に誤りが判明したため再提出